

# 音楽発表会「レ・チェコリーネ」



- 1 活動名  
「音楽発表会レ・チェコリーネ」
- 2 日時 令和5年 12月22日 金曜日  
2校時（10:00～10:20）
- 3 場所 芽室小学校 体育館
- 4 講師や協力機関 音楽ユニット「レ・チェコリーネ」
- 5 参加者

全校児童580名 教職員53名  
学校運営協議会委員 4名 合計637名

## 6 内容

### (1) 目的

◎学校運営協議会の取組を通して、学校を異世代の方々が集う場とすること。音楽発表会のような楽しい取組をみんなで共有し、芽室小学校を誇りに思うこと。

### (2) 活動内容

#### 「音楽発表会」

学校で身近な楽器、ピアノと鍵盤ハーモニカを使った演奏やスリッパを楽器として使った演奏、クリスマスソングなどを披露していただきました。会場が一体となって楽しむことができた。

### (3) 学校運営協議会委員の感想

- ・終業式と合わせて行ったことが良かった。
- ・会場 みんなが楽しんでいてとても良かった。
- ・プロの音楽を鑑賞する貴重な機会になった。
- ・終業式に初めて参加することができて、学校の雰囲気を楽しむことができるとも良い機会だった。
- ・リラックスした状態で楽しい冬休みのスタートを切ることができたのではないかな。



## 7 まとめ

### (1) 成果

「2学期元気よく頑張った子ども達へのプレゼント」ということで企画した。会場が一体となって一緒に歌ったり、リズムにのったりするなどみんなで楽しむことができた。様々な方に参加していただき、芽室小学校の様子を広く知ってもらえる機会になった。

### (2) 課題

半永久的な活動にすることが課題である。活動自体が単調にならないように、学校運営協議会で話し合いをして毎回工夫して取り組みたいと思う。

## 芽室小学校 学校運営協議会

会長 柴田 真二 副会長 岩野 真志

委員 太田 久恵 佐藤 道子 高桑 衣佳 嶋野奈津美 広瀬 智子 塩田 直之  
新町 洋行 福澤 知浩 西田 智美 松木 秀英 山口真奈美 千葉 真人

## 郷土愛や将来の職業感を育もう！



- 1 活動名 「“語る” 南小スタイル」
- 2 日時 令和6年 2月 5日 月曜日  
4校時（11：30～12：15）
- 3 場所 芽室南小学校 体育館
- 4 講師 メムロピーナッツ(株)  
藤井 信二 様
- 5 参加者 4年生～6年生児童 40名  
教職員7名  
学校運営協議会委員4名 計51名

## 6 内容

## (1) 目的

◎芽室南小とゆかりのある方や芽室町に尽力されている方からの講話を通じて、本校児童の郷土愛や将来の職業観を育むため。

## (2) 活動内容

①講話の感想を Googleforms に記入し、聞いたことをふりかえる。

②講師の方の話をしっかりと自分ごとと捉え、日頃の学校生活に役立てる。

## (3) 児童、学校運営協議会委員の感想

- ・藤井さんのきていた服がピーナッツのからできていてリサイクルを担っていてすごいなあと思った。  
(4年生児童)
- ・話の内容が理解しやすく興味があるお話でした。落花生も配ってくれて食べたら甘くて柔らかかったです。とても美味しかったです。農業が楽しいことが伝わってきました。また聞きたいです。  
(6年生児童)
- ・実際に行動している人の言葉は説得力があると思った。農家の子どもが多い中で「農家は楽しい。おもしろい仕事。」という話は、心に響いた子どもも多かったのではないかと思う。  
(学校運営協議会委員)



## 7 まとめ

## (1) 成果

①地元で活躍している方のお話を聞いて、未来の目標づくりや郷土愛を育ませることにつながった。

## (2) 課題

- ①次年度からの講師選定をうまく円滑化させる。
- ②講話や質疑応答の程よい時間設定や工夫を図る。

## 芽室南小学校 学校運営協議会

会長 林原 康治 副会長 米山 正美  
委員 林 克尚 福田 清貴 高道 博文 山上 孝一 高桑 衣佳 堀江 貴博  
長尾 全雅 吉岡 謙作 石丸 美葉 渡辺 織恵



# ユメミル 芽中!



- 1 活動名 「夢講話」  
(めむろ郷育・夢育推進事業)
- 2 日時 令和5年11月2日 木曜日  
3・4校時 (10:45~12:35)
- 3 場所 芽室中学校体育館
- 4 講師 芳野 都馬さん、平岡 早苗さん、野澤一盛さん
- 5 参加者  
芽室中学校全校生徒 382名 教職員 35名  
学校運営協議会委員 2名 計 419名

## 6 内容

### (1) 目的

- ・生涯をかけての理想や目標をもつことが、日々の生活を充実させることにつながることに気づかせる。
- ・成長とともに大人に近づいていることを実感させること、自らの将来を展望することを通して、学が意味や自分の将来、人生について考えさせる。
- ・郷土(ふるさと)の大切さ、素晴らしさに気づかせる。

### (2) 活動内容

#### ①スクールガードあいさつ運動(全8回)

- ・毎月1日に学校周辺の防犯・防災・交通安全・あいさつ運動に関わる見回りを実施した。登校時に生徒から「おはようございます」と元気なあいさつがあり、参加された方も「生徒のあいさつで1日の活力が出ます」と大変好評だった。

#### ②1年生進路学習 職業人講話

- ・芽室町在住の職業人8名を講師にお招きし、働くことの目的や生きがいを紹介してもらった。その後は、グループごとに「働くとは何か」について意見交流し、将来の生き方や働き方について考えを深めることができた。

### (3) 学校運営協議会委員の感想

- ・時々、中学校に来るが、元気に挨拶する生徒の様子や先生方と生徒の心温まる交流を見て、とても気持ちが良いなる。  
(学校運営協議会委員)



## 7 まとめ

### (1) 成果

- ①あいさつ運動を通して、学校と地域で生徒達が育てられている安心感を育むことができた。
- ②「夢育」は地域の方から学び、生徒達が自分の生き方について深く考えることができた。

### (2) 課題

- ①教育課程の編成上、無理がかからないように一部の「夢育」は開催時期を調整したい。

## 芽室中学校 学校運営協議会

会長 土屋 直道 副会長 陰元 正二

委員 芦澤 右史 森浦 直樹 今村 江穂 渡辺 洋志 島影由里香 高桑 衣佳

棚瀬 陽一 尾崎 俊明 樽松 正人 大橋 裕一 神 史明 西 貴章 市瀬 裕大

# 総合防災訓練をとおした 地域とともにある学校づくり



- 1 活動名 「上美生地区総合防災訓練」  
 2 日時 令和5年10月11日 水曜日  
 3～4校時 (11:00～13:00)  
 3 場所 上美生小学校体育館 (主会場)  
 上美生中学校  
 4 協力機関 芽室町 消防署 消防団 自衛隊 他  
 5 参加者 小学生29名 中学生 19名  
 教職員21名 消防関係 3名  
 実行委・地域住民56名 自衛隊14名  
 めむろ郷育・夢育応援団員 2名  
 合計 144名

## 6 内容

### (1) 目的

◎コミュニティ・スクールの活動と地域学校協働活動を両輪とした取組により、年代に応じた「自助・共助・公助」の役割を知り、地域、学校、保護者、関係機関が連携・協働して災害時の避難所運営を行うことで地域防災力を高める。

### (2) 活動内容

#### ①シェイクアウト訓練

午前11時13分、震度6強を災害想定として自ら命を守る行動をする。

#### ②避難訓練

中学生による地域住民の誘導、自衛隊による高齢者避難輸送、避難所の設営

#### ③避難所 (上美生小体育館) にて

避難所運営に関わる体験活動を行う。情報班、食糧班、物資班、衛生管理班、福祉班、避難誘導班が活動

### (3) 児童・生徒、学校運営協議会委員の感想

- ・心臓マッサージを実際に体験できて良かった。(児童)
- ・本当に災害が起こった時にどんなことをしたら良かった。(生徒)
- ・地域で連携した防災訓練は必要(99%)であり、地域防災に関する意識・関心が高まった。(学校運営協議会委員)



## 7 まとめ

### (1) 成果

- ①地域住民の意識や関心が高まった。
- ②参加者が高い満足度を得られた。

### (2) 課題

- ①持続可能な地域づくりに向けて、活動の質を担保しつつ、負担感を生まない工夫をする。
- ②環境や社会、個人に配慮した内容を工夫する。

## 上美生小・中学校 学校運営協議会

会長 廣瀬一也 副会長 川端数昭  
 委員 河口啓明 金本 優 大河内崇宏 岸 研吾 中村浩幸 藤林政宏 野村真実  
 中山 隆 山本英司 吉藤清孝



# 「声かけで自己肯定感アップ!!」

～図工学習サポーターの見守り～



- 1 活動名  
「2年生図工学習サポート・給食交流」
- 2 日時 令和6年 2月29日 木曜日  
4校時と給食時間  
(11:30～12:50)
- 3 場所 芽室西小学校 2年生教室
- 4 講師や協力機関 めむろ郷育・夢育応援団
- 5 参加者 2年生児童 47名  
めむろ郷育・夢育応援団員 5名  
(学校支援ボランティア) 5名  
計52名

## 6 内容

### (1) 目的

#### ◎ 子どもたちの学習環境の充実

- ・学校運営協議会において、子どもたちの学習環境をさらに充実させるために様々な人材の協力が必要との意見を受けて、標記活動に対する支援のニーズがあり実施に至った。

### (2) 活動内容

#### ①児童への励まし・声かけ

学習サポーターが児童を励ましたり、褒めたりしてくれたことで、児童が自信をもって活動できた。

#### ②児童の見守り

学習サポーターが児童の見守りを行ったことで、児童が安心して活動できた。

#### ③教師の活動補助

学習サポーターの補助により、教師は全体の様子が把握でき、きめ細やかな指導が可能になった。

### (3) 児童、学校運営協議会委員の感想

- ・ボランティアのみなさんがたくさんほめてくれてうれしかった。(2年生児童)
- ・楽しい時間だった。機会があればまた参加したい。(学校運営協議会委員)



## 7 まとめ

### (1) 成果

- ①学習サポーターの見守りや声かけによって、児童の意欲が向上し、自信を深めた。
- ②教師が学習サポーターの効果を実感できたことで、ボランティア活用への意識が高まった。

### (2) 課題

- ①教師とボランティアが活動の目的を共有するための打合せ時間を確保することが難しい。
- ②ボランティアの安定確保のため、見通しをもってカリキュラムを進める必要がある。

## 芽室西小学校 学校運営協議会

会長 白銀 孝志

委員 高橋美由紀 中田 利隆 寺町 智彦 南館 直人 山川 佳織 岡田 幸造  
阿部 立 熊谷 圭志 宇野 史了 大熊 孝史

# めむろ長芋調査隊



- 1 活動名 「長いも掘り体験」 (めむろ未来学)
- 2 日時 令和5年11月 1日(水) 2~4校時(9:50~12:40)
- 3 場所 鳥本農場、畠山農場
- 4 講師や協力機関  
鳥本和宏様、畠山大輔様、芽室西中学校学校運営協議会
- 5 参加者 芽室西中学校1年生 49名  
めむろ郷育・夢育応援団員(学校支援ボランティア) 3名  
合計52名

## 6 内容

### (1)目的

- ◎芽室町の産業を体験し、地元芽室の畑作について興味・関心や知識・理解を深め、探究心を育む。
- ◎仲間と協働して探究し、学んだことをまとめる力を養う。
- ◎ICTを活用し、学んだことや考えたことを効果的に伝える発信力を身につける。

### (2) 活動内容

#### ①事前学習

「明治なるほどファクトリー十勝」、「JAめむろ」を見学し、酪農・畑作についての現状と課題を探る。

#### ②長いも掘り体験

長いも掘りの収穫作業を体験し、生産者の話を聞くことで芽室の農業の特徴と課題を見出す。

#### ③事後学習

ポスター・新聞・パンフレット作成を通して、芽室町の現状と今後について考察するとともに、地域づくりと結びつけて考える探究心と課題解決力を育む。

### (3) 生徒の感想

「折れないように丁寧に扱うことがとても大変であった。」  
(1年生)

「生産者の作物に対する愛情や気遣いが分かり、自分の生き方や職業の参考になった。」  
(1年生)



## 7 まとめ

### (1) 成果

- ①学校運営協議会委員のネットワークで体験先の確保と学校応援団の協力も得ることができた。
- ②農作物の流過程を見学施設や体験先で学び深め、グループや個人でまとめ、考察できた。

### (2) 課題

- ①農業を支える商工業や運輸業についても学びを深め、地域経済活性化への視点が必要である。

## 芽室西中学校 学校運営協議会

会長 岩井 和彦

委員 高橋 広明 高道 豊 櫻井 香代 川瀬 邦雄 芳野 都馬 椿原 雅章

松原 宏一 和田 秀治 大熊 孝史